

●チャオ。「イタリアンは酒飲み」と思ってる方、多いと思います。でも実はEUの統計では、イタリア人の一人当たりアルコール摂取量は、フランス人平均の2/3くらい。そして2000年以降、減少傾向であるのは日本と同じです。 ●2020年、日本の「ノンアルコール」の市場は大きく伸びて30万KL程度になったそうです。主要なお酒である「ビール類+RTD」が約600万KLなので、ノンアルコールはその5%相当の大市場。 ●日本では「0.0%」がノンアルコール市場を席捲してきましたが、アサヒさんが「0.5%」を出すそうです。ヨーロッパでは「0.3~0.5%」と「0.6~0.9%」（それぞれ「ビールテイスト」と「ローアルコール」と区分して通称）は愛飲者の多いセグメントなので、市場の反応が注目されますね。 Picture & layout = Sienna K. Emiri Text = Sienna + T. Kita

←----- ノンアルコール（「0%」） ----->

ビールの世界 TOP3 のノンアルコール

- 世界トップの AB InBev：「2025年までにノンアルコール・低アルコール製品が AB InBev のビールの少なくとも20%を占めるように」など4つのグローバル・スマート・ドリンクング・ゴールを設定。
- 世界2位のハイネケン：「ハイネケン 0.0」の売上は、2020年は前年比40%増加。COVID-19で健康への関心が急増した影響が大きい。（同社の発表）
- 世界3位の華潤：2021年3月、ビール風味のノンアルコールに参入。商品名は「小啤汽」。ノンアルコール市場は世界的に伸びているが、中国では広まっていない。同社の参入で普及するかが注目される。（日経新聞の報道）

輸入の「ビールテイスト」



梅酒風



ノンアルコール専門 BAR



大手ビール・大手流通 PB の「定番 0.00 ビールテイスト」



「0.00 ビールテイスト + 健康系」



クラフトビールの「ビールテイスト」



大手の「RTD 風ノンアル」



ワイン シードル風



ウイスキー・スピリッツ風



清酒・焼酎風



←----- 「AL<1%」の低アルコール ----->

「0.5%」のビールテイスト



輸入・海外の「<0.5%」のビールテイスト



麹系の「<1%」



シーナの私的考察

少し前までノンアルコールというと、運転中、妊娠・授乳中、休肝日といった「飲みたいけれど飲めない、だから代わりに飲む」需要でした。しかし今は「アルコールは飲みたくない、ノンアルコールを楽しむ」という需要が増えつつありますね。 COVID-19でお酒を提供できないレストランでは、ノンアルコールを飲む人を見かけます。ここでも、「代わりに飲む人」と「ノンアルを楽しむ人」の両方がいるようですが、後者が増えているように思います。 ノンアル市場の大部分は「ビールテイスト」ですが、RTD・ワイン・シードル風味、さらには清酒・焼酎・ウイスキー風味のものまで様々な商品が出ています。「ノンアルを楽しむ人」が増える背景には、魅力あるノンアル商品が増えていることがあります。 一方、アメリカからは「サミュエル・アダムスの Boston Beer Company は大麻系ノンアルコール飲料の研究開発を始める」（自社のニュースリリース）という、ちょっとショッキングなニュースもあります。ノンアルは、国や地域によって、様々な動きが出てくるようです。

以下は2012年5月の「酒うつわ研究」の記事。ネットで閲覧できます。
www.kitasangyo.com/pdf/archive/siennas-watching/SUR_1205_sw.pdf

「0.00%ノンアルコールビール」の3年間の系譜@2012年5月



ビールテイスト以外のノンアルコール商品一覧@2012年5月



←----- おまけ観察・「高アルコール」も注目株！ ----->

「9%」の濃いめ RTD



「≥40%」の焼酎系



実物を撮影した写真と、ネットやカタログなどから取り込んだ画像で構成しています。